



いわざき のぶゆき  
岩崎 信幸 議員

QRコード  
録画映像は  
こちらをCHECK

## 町民一人一人のための施策を行え

問

新型コロナウイルス対策に関する質問

金銭的にも精神的にも被害を受けた全町民に対しても、国や県の給付金や指導ではなく、財政調整基金を多額に取り崩してもよいから、全町民が平等であると

答

思えて、かつ、納得のできるような町独自で有効な助成事業が行われるべきでは。

町長 財源を考慮し、状況を把握した上で、有効な事業を展開していく。

## 状況を把握し、有効な事業を展開

問

3つの選択肢があった。私が提言した町民一人一人に対しても1万円の給付。今回町が行っている、よし

おか地域応援商品券事業。多くの市が行なっているプレミアム商品券事業。プレミアム商品券は、全町民に行き渡らないという欠点はあるが、不必要なならば買わなければよいという利点がある。町の商品券は、応援といっても一部の限定された事業所のみの使用で、利用価値がない可能性があり、しかも、1世帯に1万円分の券では世

帯の人数によって不公平が生じる。私の提言した1万円の給付は、町民全員に公平に行き渡り、即配布されるの

で効果がある。3つの選択肢の中で、熟慮はしたのか。

答 協議して現事業を進める

町長 協議した上で、現事業を進め

る決定をした。

問

\*P D C Aサイクルは長期に渡る事業には有効であるが、短期的には通用しない。P D C Aサイクルの欠点は、致命的にスピードが遅い。合意を

機応変に対応する。

町長 スピード感を持って準備、臨機応変に対応する。

## 町民一人一万円の給付がベストでは

がない。町ではP D C Aサイクルを基にして事業を進めて行こうと思えるくらいに事業の進行が遅い。よしおか

地域応援商品券事業も、短期戦略マニュアルといえるものを策定すべきと思うが。

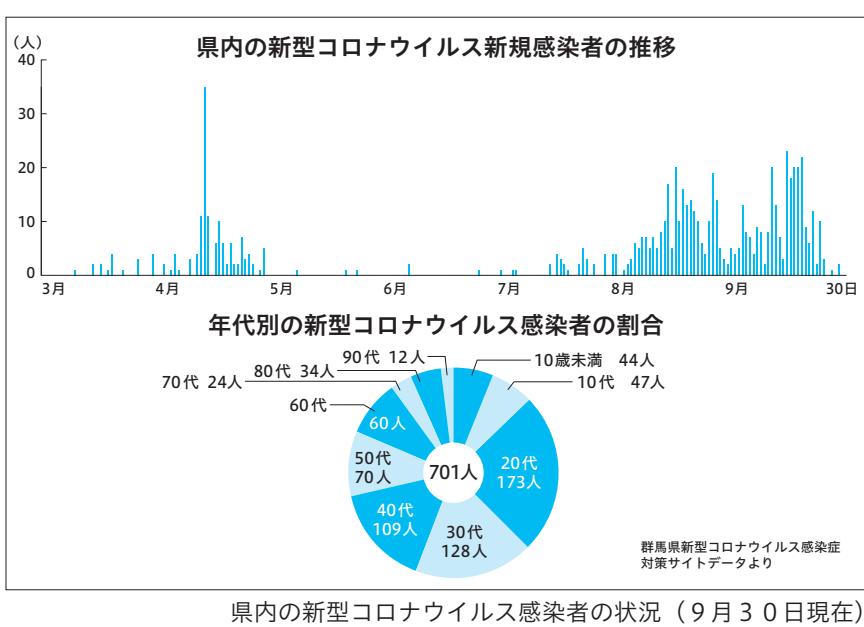
11月からの実施では、明らかに対応が遅い。短期で効果が求められる取り組みには、トッ

がいい。町ではP D C Aサイクルを基にして即座に物事を進めるべきである。そのためには、短期戦略マニュアルといえるものを策定すべきと思うが。

町長 スピード感を持って準備、臨機応変に対応する。

※P D C Aサイクル  
Plan(計画)、Do(実行)  
Check(確認)、Action(行動)を繰り返すことによって、業務を継続的に改善していく手法。

### ミニ解説





さかた かずひろ 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 漆原総社線、 納得できる 説明を

答 町が事業主体の  
道路では最重要

は。

問

都市計画道路「漆原総社線」の概要

答 建設課長 総事業費は約12億8千

業費は、約2億3千万円。第1工区の事業費は、約2億3千万円。株式会社コメック

ス付近の暫定整備路線から上武国道へ向かう

道路まで、延長約5.6

0mを整備。

大型車対応化となる駒寄スマートICに接続する、県道南新井前橋

線と上武道路を結ぶ「漆原総社線」の整備が最重要と認識。

問 国の補助による石綿管布設替え事業

が終了した。残る石綿管はどれくらいか。

答 上下水道課長 町内に残る石綿管は

2760m。財政状況などを踏まえ、毎年少しずつ布設替えを進めたい。

問 令和元年第3回定例会で採択された

「八幡山公園の整備及び拡張の再検討を求める請願」を受け、八幡山グラウンドをどのように整備するのか。

答 教育委員会事務局長 社会体育施設としてだけでなく、中学校のサブグラウンドとしての役割、周辺施設との関係性など、広い視野での計画性が求められる。策定中の次期総合計画の中で、協議されることになる。

問 未着手の都市計画道路を含め、※費用便益分析を考慮せず、事業の優先順位を決めるのは問題があるので。

答 町長 町主体の都市計画道路整備事業では、来年度に

問 上下水道課長 4億3千万円分については、国の補助で実施済み。残る投資も補助金と企業債などを活用し効果的に進めたい。

日常の買い物が困難な人に対策を

答 関係機関と連携、模索したい

問 町内には、日常の食料品などの買い物が困難な人もいる。この現状を踏まえ、どのような施策を講じるのか。

答 町長 町の担当部局と商工会・社会福祉協議会などの関係機関と情報共有し、連携しながら模索したい。

問 耐震化されていな  
い浄水場があるが。  
答 町長 耐震化され  
ていない施設など  
については、優先順位  
をつけ、必要に応じて  
改修したい。

※費用便益分析  
ある事業の実施に要する費用に対して、社会的に得られる便益の大さきがどのくらいであるかを比較し、分析・評価するもの。費用対効果ともいう。

ミニ解説



今、なぜここに12億8千万円の道路を建設する必要があるのか  
必要性・妥当性について、町民に明快な理由の説明が必要だ  
(都市計画道路「漆原総社線」予定地)



いいじま  
まもる  
飯島 衛 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 避難所運営の 研修が必要と 思うが

### 答 防災専門員を 中心に検討 している

**問** コロナ感染が懸念される時代の避難所では、簡易ベッドは新しい生活様式である。そして、避難所でも、被災者の避難所運営への参加が求められる。町でも、避難所運営を研修すべきと思う。

**答** 町長 避難所運営訓練の実施計画に

**問** コロナ感染が懸念される時代の避難所について、防災専門員を中心には、感染リスクを考慮しながら運営に携わる人を対象に訓練を行う予定である。

**問** 修学旅行の実施については。

**答** 教育長 小・中学生は、今年さまざまなかな行事が中止になっており、修学旅行を何とか体験させてあげたいとの思いから、開催時期・行き先・交通手段の見直しなど、実施に向けた準備している。

**問** 医療・介護・福祉従事者に対する抗体検査を公費で負担している自治体があるが、町では計画があるか。

**問** 以前よりコンビニでのマイナンバーカードを使った証明書の発行を訴えている

**答** 企画財政課長 コンビニでの各種証明書の発行が行えることはとても重要と認識している。可能な限り取り組んでいる。

**問** 町長 今後の国や県などの動向もあり、情報収集したい。希望する町民に抗体検査を実施できないか。

**答** 健康子育て課長 有用性を考えて、町では実施はしない。

**問** 教育委員会事務局長 十分な感染防止対策を取りながら、実施できたらと考えている。

**問** 令和3年3月から、健康保険証として使用できるとのことだが。

**答** 住民課長 来年の3月から開始予定となっている。医療機関などのシステム整備も必要になるので、整備が済んでいる医療機関や薬局などで利用できる予定。

**問** 90%を下回る時と、中学生の場合は、警戒度が行き先も群馬県も1でないと実施しないと考えている。

**答** デジタル化加速の必要性が叫ばれている。マイナンバーカードの申請数は何件で、何%になるのか。

**答** 住民課長 8月16日時点で、申請が4164件。約19.1%である。

**問** どのような条件で中止になるのか。

**答** 教育長 参加率が90%を下回る時と、中学生の場合は、警戒度が行き先も群馬県も1でないと実施しないと考えている。



避難所での感染拡大防止に有効な段ボールベッドと間仕切り





こいけ はるお  
**小池 春雄** 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

## 「世帯1万円の商品券は不公平

**問** 国の持続化給付金が収入の減った事業所に、100～200万円支払われ、これらの人たちに、町は補助金10万円を支給した。議会は国の給付金が受けられない町内業者（農業者も含む）にも出すよう要望したが、受け入れられなかつた。町民1世帯に1万円分

**問** コロナ禍で、経構造から働き方、

**答** 町長 府内で協議

検討した結果、1世帯1万円となつた。健全な財政運営に配慮し対応した。

**問** 吉岡町に放置され

ている、大同特殊鋼株式会社の鉄鋼スラグ問題では、未だ解決に至つていない。榛東村にあるメガソーラー

**答** 今後も榛東村と連絡を取り対応

鉄鋼スラグ撤去されるまで質問したい

**答** 町長 鉄鋼スラグが用いられた疑いのある工事場所について、出荷者である大同特殊鋼株式会社に対し任を求める、継続して協議をしている。今後も

合意ながら対応していく

## 健全な財政運営に配慮し対応した

**答** 町長 コロナ対策では、さまざまな制度があるが、町民に対しても問題解決のため、専門窓口が必要と思うが、見解は。

**答** 町長 この路線は崖地に架ける橋や住宅も数軒あることから、多額の事業費がかかり、見送られてきた。都市計画道路変更のための住民説明会に先立ち、議会に説明した。

なき、今般いただいた課題に対処していく。  
**問** 漆原総社線の計画が示された。議会とも協議して都市計画道路は順位を決めるべきと思うが。



この先に道路整備が計画されているが、優先順位を決めるべきだ  
(都市計画道路「漆原総社線」予定地)